

甲賀市決算

平成26年度の甲賀市の決算をお知らせします。「生活感幸、加速」甲賀の國づくり予算」として4つの重点テーマを掲げ、市民の皆さまにさらなる幸せを感念いただくため、スピード感を持って事業執行に取り組みました。

特別会計 市が特定の事業を行うための会計

	歳入決算額			歳出決算額		
	26年度 A	25年度 B	前年度比 A/B(%)	26年度 A	25年度 B	前年度比 A/B(%)
国民健康保険	97億8,215万円	96億3,184万円	101.6	88億 649万円	86億6,607万円	101.6
後期高齢者医療	17億1,977万円	16億8,397万円	102.1	17億 451万円	16億7,037万円	102.0
介護保険	59億7,244万円	56億1,529万円	106.4	59億5,785万円	55億 978万円	108.1
公共下水道事業	35億 655万円	33億4,590万円	104.8	34億5,136万円	32億8,019万円	105.2
農業集落排水事業	8億6,375万円	7億6,279万円	113.2	8億5,521万円	7億4,016万円	115.5
土地取得事業	623万円	613万円	101.6	448万円	410万円	109.3
野洲川基幹水利施設管理事業	2,061万円	1,990万円	103.6	2,060万円	1,989万円	103.6
浄化槽管理事業	-	2億5,580万円	皆減	-	2億2,327万円	皆減
小計	218億7,150万円	213億2,162万円	102.6	208億 50万円	201億1,383万円	103.4
病院事業	収益的収支 8億4,742万円	7億9,992万円	105.9	9億1,719万円	8億3,092万円	110.4
	資本的収支 3,471万円	2,984万円	116.3	7,910万円	5,567万円	142.1
水道事業	収益的収支 32億1,072万円	27億8,920万円	115.1	28億7,031万円	25億1,308万円	114.2
	資本的収支 5億2,238万円	6億9,226万円	75.5	11億1,191万円	13億6,262万円	81.6
診療所事業	収益的収支 2億 780万円	2億1,876万円	95.0	1億9,569万円	1億9,900万円	98.3
	資本的収支 0	0	-	575万円	548万円	104.9
介護老人保健施設事業	収益的収支 3億 885万円	3億1,602万円	97.7	3億 18万円	2億9,119万円	103.1
	資本的収支 0	0	-	316万円	119万円	265.5
小計	51億3,188万円	48億4,600万円	105.9	54億8,329万円	52億5,915万円	104.3
合計	270億 338万円	261億6,762万円	103.2	262億8,379万円	253億7,298万円	103.6

※浄化槽管理事業については、平成25年度に廃止しました

一般会計 市の基本となる会計

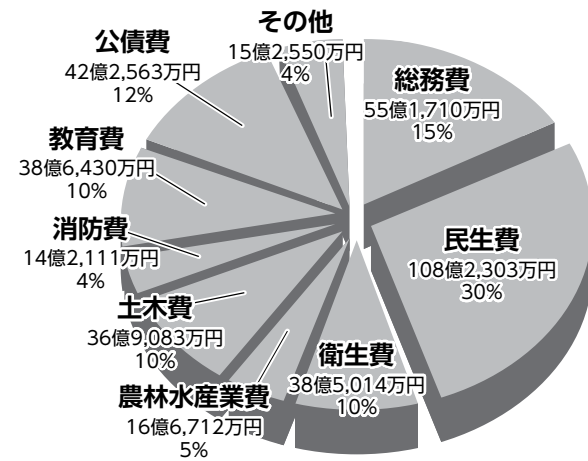
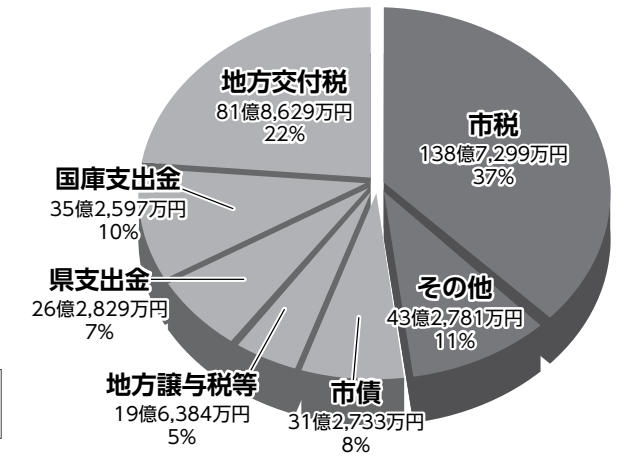
歳入決算額
376億3,252万円

■ 自主財源 182億 80万円 48%
■ 依存財源 194億3,172万円 52%

市民1人あたりの市税負担額
46,238円

※市税（個人市民税）の収入（42億7,850万円）を平成27年3月31日現在の人口（92,533人）で割って計算しました。

その他は、分担金・負担金、使用料・手数料、寄附金など



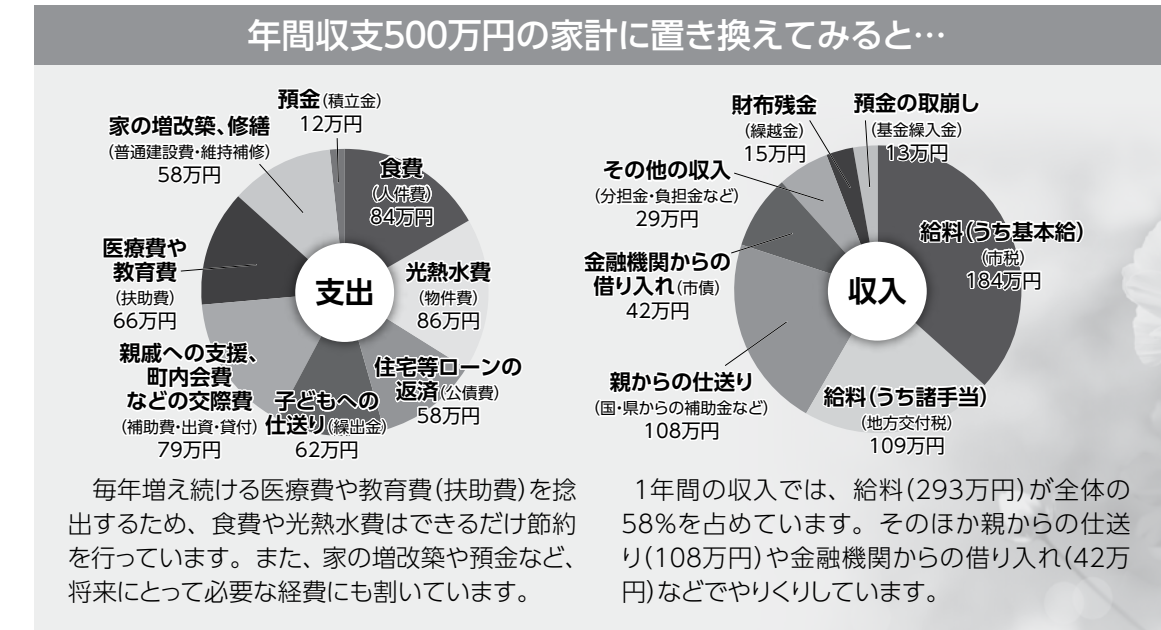
その他は、議会費、労働費、商工費、災害復旧費の合計

高齢者・児童・障がい者の福祉サービスの提供などに係る民生費の支出が一番多くなっています。

歳出決算額
365億8,476万円

市民1人あたりの歳出
395,370円

項目	内容	金額
総務費	地域情報化基盤整備事業や地域コミュニティに	59,623円
民生費	高齢者や子ども、障がい者の福祉に	116,964円
衛生費	健康で衛生的な生活環境の推進に	41,608円
農林水産業費	農業や林業の振興に	18,017円
土木費	道路や公園などの公共施設の整備に	39,887円
消防費	消防団の運営、災害対策に	15,358円
教育費	学校教育の充実、文化・スポーツの振興に	41,761円
公債費	市が借りたお金の返済に	45,666円
その他	商工業の振興、議会の運営経費など	16,486円



毎年増え続ける医療費や教育費(扶助費)を捻出するため、食費や光熱水費はできるだけ節約を行っています。また、家の増改築や預金など、将来にとって必要な経費にも割いています。

1年間の収入では、給与(293万円)が全体の58%を占めています。そのほか親からの仕送り(108万円)や金融機関からの借入れ(42万円)などでやりくりしています。

■ バランス取れた市政に全力



甲賀市長 中嶋武嗣

平成26年度は、市制施行10年目の年でした。10年の間に経済の大きなうねりもありましたが、徹底したコスト意識を持ち、市債(借入)の抑制や基金の積み立てを行い、長期的視野に立った財政基盤の強化に努めてきました。

各事業も外部評価を取り入れるなどして精査を図り、投資以上の効果を生み出すようスピード感を持って取り組んできました。その結果、各財政指標は年ごとに改善し、安定的な状態を保つことができています。

これからも、子育てや教育、福祉の充実を基本に、市民の幸せと市政発展を願い、バランスの取れた市政運営に全力で取り組みます。

■ 住みよさランキングで全国36位

東洋経済新報社が毎年発行する「都市データパック」の住みよさランキングで、甲賀市は今年、全国で36位にランクされ、昨年より1つアップしました。同社が独自に全国813市区を対象に、財政力や経済力、雇用などを総合分析しているものです。

県内のランキングは次のとおりです。カッパ内は全国順位。大津市(276)彦根市(45)長浜市(66)近江八幡市(58)草津市(14)守山市(123)栗東市(42)甲賀市(36)野洲市(393)湖南市(559)高島市(552)東近江市(247)米原市(48)。

また、朝日新聞出版が発行するAERA9月14日号の、仕事と教育に不自由しない緑豊かな移住しやすい街110にも甲賀市は選ばれました。